

赤十字みやざき

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society



2021年

春号



災害に
終わりは無い。

東日本大震災から10年がたった日本。しかし、復興はまだ半ば。現地での活動は今もなお続いている。

そして、災害は毎年のようにこの国を襲い続け、備えの不足が大きな被害をもたらしている。

新型コロナウイルス禍では感染症への備えも必要になっている。

災害が起きてからでは遅いのです。一人ひとりが、それぞれの家族が、

地域が、命を守るための行動を、今おこなうことが必要なのです。

私たち赤十字は、平時から、災害時への準備を行っています。

救護のための医師や看護師等を訓練し、いつでも災害現場へ向かえる体制をつくる。

災害時に必要な物資の備蓄、被害を最小限にとどめるための防災セミナーを行う。

これらの活動は、みなさまの寄付で行われています。

防災のため、減災のため、これからもご支援・ご協力をお願いいたします。

赤十字の活動にご参加ください。 ボランティアに登録する 防災セミナーに参加する 寄付で支援する



ACTION! 防災・減災

命のために今すぐ



救いを託されている。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society





Rememberから、Actionへ。

防災・減災への備え



あの震災から10年。災害は毎年のように発生していますが、非常用持ち出し袋の普及率や地域の防災訓練への参加率がまだ5割程度であるなど、災害に対する備えはまだまだ不足しています。

そこで、日本赤十字社では、「防災・減災への備え」として、人々の防災意識の向上に努めるとともに、いつ災害が起きても迅速に活動できるよう、日々災害への備えを行っています。

職員の訓練



災害情報を適切に管理し、「何が必要か」を判断します。



医師や看護師との連携を確認し、救護班の質を高めます。

資材の整備



宮崎県支部内救護物資倉庫の様子。



令和2年度に整備された「リチウムイオン蓄電器」。

日赤宮崎県支部の庁舎内や各地の日赤窓口にも、毛布をはじめとした災害救援物資倉庫を常備し、災害に備えています。2020年には、支部の災害対応能力を更に向上させるために、非常用電源として「リチウムイオン蓄電器」を整備しました。この蓄電器は、太陽光での蓄電(写真右ソーラーパネルを使用)も可能であり、被災地での活躍も期待されます。

平成23年3月11日午後2時46分、東北地方の三陸沖でマグニチュード9.0という日本の観測史上最大の地震が発生。直後の大津波は東日本沿岸部に未曾有の被害をもたらしました。

日本赤十字社は、発災直後から、全国の職員やボランティアを総動員し、岩手、宮城、福島各県沿岸部を中心に医療活動やボランティアによる炊き出しなど多面的な活動を展開しました。

また、100を超える国や地域の人々から、現地の赤十字社や赤新月社を通じて、約1,000億円もの海外救援金のご寄託がありました。いただいた海外救援金は、被災された方々の生活再建や医療支援、原発事故対応などの活動財源として活用されました。

宮崎県支部でも、発災後ただちに活動を開始。3月17日には宮崎大学医学部附属病院と支部職員とで構成された第一次医療救護班を被災地へ派遣。医療救護班は、6月10日までの期間に6班50名が派遣され、石巻市や福島市で救護活動を行いました。

また、被災地へ2度にわたる救援物資の送付(毛布1,460枚、緊急セット510組)を行うなど、関係機関をはじめ多くの方の協力をながら、様々な活動に取り組みました。



←被災地へ急ぐ赤十字関係車両



←各国の赤十字関係者が来日。被災地を視察し、被害の現状を把握するとともに、必要な支援について検討しました。



巡回診療の様子(石巻市)



救援物資の運び出し



人々の笑顔に元気づけられました

「自助」と「共助」の向上

また、日本赤十字社では、防災セミナーや防災教育を通じて、災害に対する正しい知識や災害時に命を守る方法などを伝えることで、**地域コミュニティにおける「自助」と「共助」の向上**に努めています。



赤十字防災セミナー

赤十字防災セミナーでは、身近にあるものを用いた応急手当(三角巾による包帯法、毛布による搬送等)や、災害から身を守るために平時から準備すべきこと、過去の災害を追体験することで被災の具体的なイメージを把握・理解する災害エスノグラフィーなどを普及しています。

また、幼稚園児から高校生向けの防災教材を作成し、教育現場における防災教育にも積極的に取り組んでいます。



ユースボランティア育成講座 1/22

REPORT



↑ 講義には、約60名の学生が受講しました。
← 相手が何を必要としているか、「ニーズ」を理解することの重要性を語る職員。

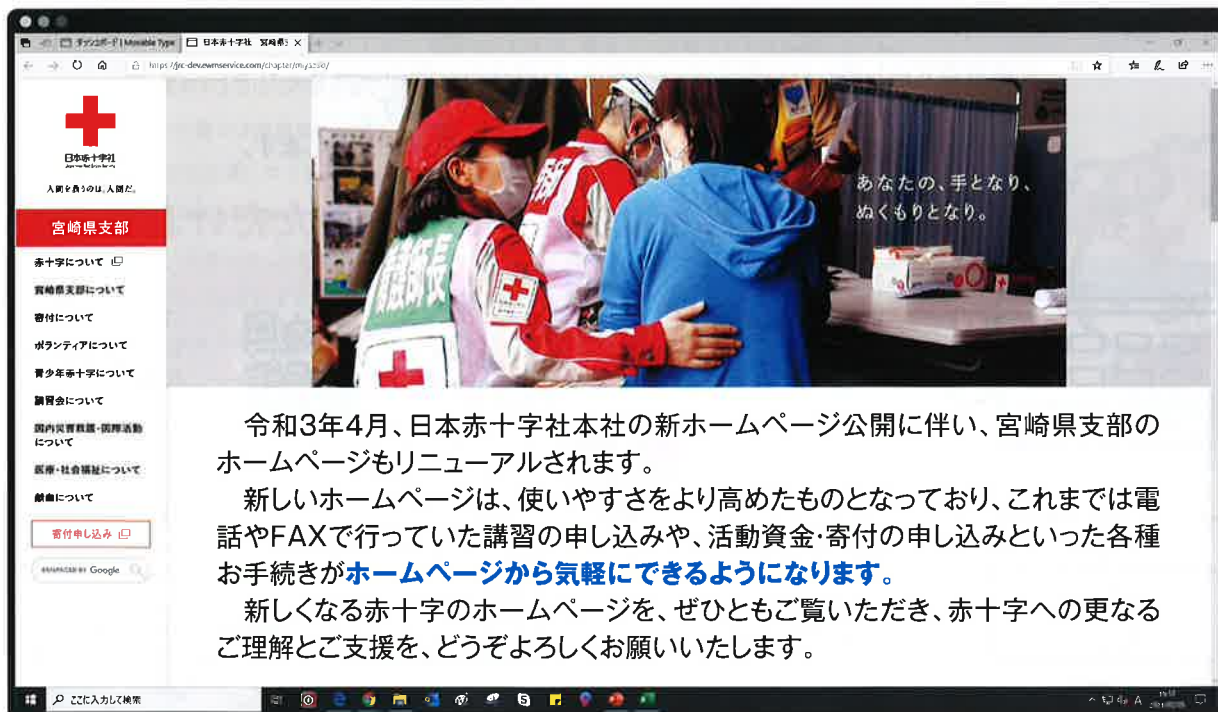
1月22日、日赤宮崎県支部は宮崎産業経営大学
生対象のボランティア講座を開催しました。昨年度
に引き続き2回目の開催となった今回は、コロナ禍
のためオンラインで開催しました。日赤職員がボラ
ンティアの重要性やその意義について、具体的な活
動事例を交えながら講義し、受講した学生からは、
「ニーズに対して自分自身をどのように生かすこと

できるのか考え、そこから考えるだけでなく行動に
移すことの大切さを学ぶことができた。次は実際の
活動に取り組みたい。」などの感想が聞かれました。
昨年度の同講座を機に、ユースボランティアに参加
した学生もおり、ユース世代の今後の活躍に期待の
持てる講座となりました。



赤十字のホームページが新しくなります!!

NEW



令和3年4月、日本赤十字社本社の新ホームページ公開に伴い、宮崎県支部の
ホームページもリニューアルされます。

新しいホームページは、使いやすさをより高めたものとなっており、これまでは電
話やFAXで行っていた講習の申し込みや、活動資金・寄付の申し込みといった各種
お手続きが**ホームページから気軽にできるようになります。**

新しくなる赤十字のホームページを、ぜひともご覧いただき、赤十字への更なる
ご理解とご支援を、どうぞよろしくお願いたします。





赤十字活動資金への ご協力をよろしくお願いいたします。



伝える



広める



支える

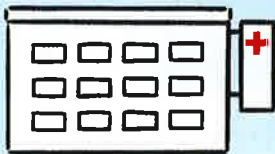


育てる

災害救護をはじめこれら赤十字の活動は、行政からの補助金等を受けることなく、みなさまからの活動資金へのご寄付によって支えられています。

これからも、赤十字へのご理解とご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

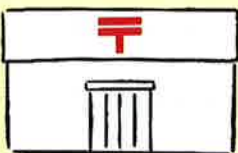
赤十字へのご寄付は様々な方法をお選びいただけます



日赤宮崎県支部や、各市町村の日赤窓口でのご協力



スマホアプリ「Jコインペイ」を利用したご協力



銀行や郵便局から振り込みによるご協力

※「専用振込用紙」のご利用で、手数が免除されます。



銀行口座からの引き落としや、クレジットカード決済によるご協力



ご不明な点がございましたら、こちらまでお問い合わせください。

日本赤十字社宮崎県支部 総務課 TEL.0985-22-4045 [✉ miyazaki-info@miyazaki.jrc.or.jp](mailto:miyazaki-info@miyazaki.jrc.or.jp)

お知らせ

赤十字支援型自販機の設置が、
県内で140台を突破しました!!

売上の一部を赤十字にご寄付いただく支援型自販機の県内設置台数が、140台を突破しました。これも偏に、皆様のご理解とご支援のおかげです。引き続きご協力いただける企業・個人の方を随時募集していますので、お気軽にお問い合わせください。

※赤十字マークと設置企業様の名称等を、自販機前面のPR画面に提示することもできます。



■市町村別設置台数(2021年2月1日現在)

市町村	台数	市町村	台数	市町村	台数
宮崎市	35	日向市	4	高鍋町	10
宮崎市田野町	1	串間市	1	新富町	1
宮崎市佐土原町	11	西都市	4	川南町	2
宮崎市清武町	2	えびの市	2	門川町	1
都城市	23	三股町	4	美郷町北郷	3
延岡市	16	高原町	1	高千穂町	1
日南市	5	国富町	1	日之影町	2
小林市	9	綾町	1	五ヶ瀬町	1
宮崎県内 合計141台					

義援金・救援金のご協力ありがとうございます

受付中

(令和3年1月末時点)

・東日本大震災義援金	H23.3.14~R3.3.31	652,719,442円
・平成28年熊本地震災害義援金	H28.4.15~R3.3.31	155,373,408円
・平成29年九州北部豪雨災害義援金	H29.7.7~R3.3.31	13,771,624円
・平成30年7月豪雨災害義援金	H30.7.10~R3.6.30	56,192,054円
・令和元年台風第19号災害義援金	R1.10.16~R3.3.31	18,215,443円
・令和2年7月豪雨災害義援金	R2.7.7~R4.3.31	7,329,124円
・中東人道危機救援金	H27.4.1~R4.3.31	4,265,486円
・Bangladesh南部避難民救援金	H29.9.22~R4.3.31	96,286円

お知らせ

令和3年3月31日をもって、東日本大震災義援金は受付を終了いたします。これまで長年にわたりご支援をいただき、ありがとうございました。

香典返しを寄せられた方々

R2.7.1~R2.12.31



日赤宮崎県支部 (故)服部セイ様
児玉智恵様
元日田敏様
都城市 椎屋逸雄様

延岡市 眞田昌良様
藤野容子様
堀田昌則様
※順不同

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
ご遺志に沿い赤十字事業に有効に活用させていただきます。

赤十字への寄付やボランティアへの参加など、赤十字に関するお問い合わせは下記の連絡先まで、お気軽にお問い合わせください♪

日本赤十字社宮崎県支部

〒880-0802 宮崎市別府町3番1号

TEL 0985-22-4045 FAX 0985-22-4178

E-mail miyazaki-info@miyazaki.jrc.or.jp

日本赤十字社宮崎県支部

検索

